

# 2025 年度鑄造カレッジ（鑄造中核人材育成）

## 東海地区 鑄鉄コース 募集要項

主催：一般社団法人日本鑄造協会 連携：公益社団法人日本鑄造工学会

### 目的

将来の工場長や経営幹部となる人材の育成を目的としています。  
(鑄造技術を理論的に理解し、かつ工場管理が出来る人材の育成)

### 受講資格 (重要)

**当講座は基礎講座ではありません。一定レベルの鑄造技術知識を保有される方を対象としております。次の経験、知識(またはそれと同等の知識)のない方は受講できません。**

(1) 実務経験：「鑄造関係業務 5年以上」

但し大学の工学部・理工学部・理学部、又は高等専門学校の機械・材料系を卒業、又は大学院で鑄造を研究、以上の対象者は経験年数3年以上を可とする。

(2) 技術知識 (以下の①の研修の受講、又は②の資格の保有)

①当協会の「鑄造入門講座」、日本鑄造工学会の「技術講習会」、素形材センターの「鑄造技術研修講座」等の2日以上(講義、実習10時間以上)のシリーズ的鑄造関係の技術講座、又は、各機関・団体の開催している以下の12講座のいずれかを受講していること。

②鑄造関係の国家技能検定資格(2級、1級、特級)

講座名	主催機関・団体	日数・時間
埼玉県中小企業技術者研修 (短期研修：金属課程)	(社) 埼玉県川口中小企業技術者研修センター	座学 2H×10 日間
鑄造技術研修会	静岡県鋳鉄鑄物工業組合	座学 4H×11 日間
三重県鑄造技術者育成研修	三重県工業研究所金属研究室	座学 29H (8 日間) 実習 26H (5 日間)
鑄造技術者初級研修	島根県鑄造関連産業振興協議会	座学 17H (4 日間)
鑄造初級講座	日本鑄造工学会北陸支部	座学 10H (2 日間) + 工場見学
「アルミの鑄物講座」(1 日) 「アルミ合金ダイカスト実践講座」(1 日) ※2 講座両方の受講が必要	日本鑄造工学会東海支部	座学 7H (1 日間) 座学 7H (1 日間) 合計 14H (2 日間)
夏期鑄造講座	日本鑄造工学会東北支部	座学 12.5H 実習 4H (3 日間)
鑄鉄の基礎講座(1 日) 鑄鉄の中級講座(1 日) ※2 講座両方の受講が必要	日本鑄造工学会東海支部	座学 5.8H (1 日間) 座学 5.2H (1 日間) 合計 11H (2 日間)
鑄造初級講座	全九州鋳鉄鑄物工業組合	座学 10H (6 日間) (2015 年度開催)
鑄造基礎講座	日本鑄造協会中国四国支部 (連携) 日本鑄造工学会中国四国支部	座学 30H (6 日間)
鑄物初級講座	全九州鋳鉄鑄物工業組合 日本鑄造工学会九州支部	座学 47H (8 日間)
鑄物初級講座	日本鑄造工学会北海道支部	座学 12H (2 日間) 2017 年版 座学 10H (1 日間) 2020 年版

※鑄造工学会の春・秋の講演大会、技術講演会、協会の春秋大会、技術講演会、素形材センターの1日のセミナー、社内教育、コンサルタントの教育等は受講経歴となりません。

★本カレッジでは各講義後、レポートの作成、提出が必須となっており、ある程度のレポート作成能力、パソコンの知識が必要となります。また事務局よりの諸連絡、レポートの提出等にメールを多用しますので、ご自身、連絡のつくメールアドレスが必要となります。

申 込	<p>2025 年 4 月 1 日（火）～5 月 7 日（水） 先着順。</p> <p>「2025 年度鑄造カレッジ受講申込書」に全項目、漏れなく記入のうえ、メールに添付し、お送りください。なお、申込書はPDF化しないでお送りください。</p> <p>*郵送、FAXでのお申し込みは受付致しません。</p> <p>*事務局がメールを受付受信しましたら、開封確認メールをお送りします。</p> <p>資格審査後、受講者には受講通知を 5 月下旬ごろお知らせします。請求書は後日お送りします。なお、定員を超えた場合は、1 社 1 名に制限させて頂く場合があります。</p>		
定 員	20 名	受講料	<p>(一社) 日本鑄造協会 会員 385,000 円 (本体: 350,000 円・消費税 10%: 35,000 円)</p> <p>(公社) 日本鑄造工学会 会員 451,000 円 (本体: 410,000 円・消費税 10%: 41,000 円)</p> <p>非会員 660,000 円 (本体: 600,000 円・消費税 10%: 60,000 円)</p> <p>*講座中の交通費、宿泊費、昼食費等は含みません。</p>
全 体	<p>開 講 式 2025 年 6 月 27 日（金）</p> <p>開催期間 2025 年 6 月 27 日（金）～2026 年 1 月 30 日（金）の内の 17 日間</p> <p>認 定 式 2026 年 5 月（予定）</p> <p>詳細はカリキュラムと講義内容をご覧ください。</p>		
講 義	<p>受講期間 2025 年 6 月 17 日（金）～2025 年 11 月 14 日（金）の内 11 日間</p> <p>受講内容 30 コマ×2 時間＝60 時間（うち、12 コマは Web 講義となります）</p> <p>各コース共通の科目＝共通講義 18 コマ（共通 9 科目、管理 5 科目、地区別 4 科目）</p> <p>鑄鉄コース専門科目＝専門講義 12 コマ</p> <p>会 場 愛知県鑄物工業協同組合二階会議室（愛知県名古屋市中区白金 3-13-5） または Web 講義</p> <p>※Web 講義は Zoom による講義となります。詳細はカリキュラム・講義内容をご覧ください。</p>		
インター ンシップ	<p>受講期間 2026 年 1 月 14 日（水）～16 日（木）、29 日（木）～30 日（金）の 5 日間</p> <p>内 容 造型・溶解 ～ 検査までの実習、講義、事例研究、</p> <p>会 場 三重県工業研究所金属研究室（三重県桑名市志知西山 208） ニューアロイ(株)（愛知県豊橋市新西浜町 1）</p> <p>工場見学 2025 年 11 月 28 日（金）</p> <p>詳細はカリキュラムをご覧ください。</p>		
称号授与	<p>所定の出席数、成績を満たした方には、当協会認定「鑄造技士 (Foundry Expert)」の認定証を授与します。</p>		
特 典	<p>授与された称号「鑄造技士 (Foundry Expert)」は名刺等の印刷物に使用できます。</p> <p>「鑄造技士」に認定された方は、当協会機関誌「鑄造ジャーナル」、日本鑄造工学会機関誌「鑄造工学」にお名前と写真を掲載します。</p> <p>「鑄造技士に認定されると、日本鑄造工学会の正会員となり、技術講演会、技術交流会などの学会諸活動の参加と情報収集が可能になります。（正会員会費は、最初の 3 年間は日本鑄造協会が支出します。）</p>		
お問合せ	<p>一般社団法人日本鑄造協会 鑄造カレッジ 事務局</p> <p>〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目 5 番 8 号 機械振興会館 5 階 501 号室</p> <p>TEL : 03-3432-2991 FAX : 03-3433-7498 E-mail : college@foundry.jp</p>		

★定員に達しない場合には開催を延期することがあります。

★Web 講義方法 (Zoom) につきましては希望者に事前確認を実施します。

# 東海地区 鑄鉄コース全体日程及び講義カリキュラム（予定）

★開催期間：2025 年 6 月 27 日（金）～2026 年 1 月 30 日（金）の 17 日間

講義受講日程：2025 年 6 月 27 日（金）～ 2025 年 11 月 14 日（金）の 11 日間

開催場所：愛知県鑄物工業協同組合二階会議室（愛知県名古屋市昭和区白金 3-13-5）および Web 開催、  
インターンシップは三重県工業研究所金属研究室、(株)ニューアロイ

\* 網掛け   は鑄鉄コースの講義で、鑄鋼コースの方は受講しません。また、  は 3 地区合同講義、★は Web 講義日です。

コマ	日 程	時 間	区分	科 目 ・ 内 容	講師(予定)
	6 月 27 日 (金)	10:20～11:20		開講式・オリエンテーション	関係各位
1		12:20～14:20	共通 1	鑄造概論	万谷義和（鈴鹿工業高等専門学校）
2		14:30～16:30	共通 2	状態図の基礎	田村卓也（産業技術総合研究所）
3	7 月 11 日 (金) ★	10:00～12:00	共通 3	鉄系鑄物概論（鑄鉄・鑄鋼）	鈴木克美（ものづくり大学名誉教授）
4		12:50～14:50	共通 5	生型の鑄型用材料と造型法	佐藤和則（日本鑄造工学会）
5		15:00～17:00	共通 6	生型以外の鑄型用材料と造型法	橋本邦弘（元新東工業株）
6	7 月 25 日 (金)	10:00～12:00	地区 3	炉前試験、組織観察	栗熊 勉（栗熊技術事務所）
7		12:50～14:50	共通 4	非鉄鑄物概論（軽合金・銅合金）	林 壮一（株）マルサン木型製作所
8		15:00～17:00	共通 9	コンピューターシミュレーション概論	合田拓矢（株）トヨタシステムズ
9	8 月 6 日 (水) ★	9:45～11:45	共通 7	模型製作	宇波岳雄（株）田口型範
10		12:35～14:35	共通 8	鑄造品の品質保証と非破壊検査	桑原 勝（株）クボタ教育センター
11		14:45～16:45	管理 2	原価管理	長坂悦敬（甲南大学名誉教授）
12	8 月 22 日 (金)	10:00～12:00	専門 1	鑄鉄の用途	岡田裕二（元トヨタ自動車(株)）
13		12:50～14:50	専門 4	量産小物鑄鉄鑄物を中心とした鑄鉄の材質と用途	岡田裕二（元トヨタ自動車(株)）
14		15:00～17:00	専門 2	状態図と鑄鉄の組織・凝固	田村卓也（産業技術総合研究所）
15	9 月 5 日 (金)	10:00～12:00	専門 5	量産小物鑄鉄鑄物を中心とした鑄鉄の製造プロセス、鑄造方案	栗熊 勉（栗熊技術事務所）
16		12:50～14:50	専門 7	鑄造方案とコンピューターシミュレーション	合田拓矢（株）トヨタシステムズ
17		15:00～17:00	専門 3	鑄鉄の溶解と材質	長倉啓太（トヨタ自動車(株)）
18	9 月 19 日 (金) ★	9:45～11:45	管理 3	品質管理(TQC, 検査法)	中村隆廣（元(株)クボタ教育センター）
19		12:35～14:35	管理 4	安全・衛生管理、環境管理、省エネルギー	松下哲也（株）大田鑄造所
20		14:45～16:45	管理 5	設備管理	田村浩一 （田村労働衛生コンサルタント事務所/元IJTT）
21	10 月 3 日 (金)	10:00～12:00	専門 10	特殊鑄鉄鑄物（合金鑄鉄）の材質、用途、製造法	岡田裕二（元トヨタ自動車(株)）
22		12:50～14:50	専門 9	鑄物砂の管理と砂試験法	菅根孝明（株）瓢屋
23		15:00～17:00	専門 8	中子造型法	菅根孝明（株）瓢屋
24	10 月 17 日 (金) ★	9:45～11:45	管理 1	生産管理	木村寿一（株）木村鑄造所
25		12:35～14:35	専門 6	大物鑄鉄鑄物の製造プロセス、材質、鑄造方案、欠陥	菅野利猛（元(株)木村鑄造所）
26		14:45～16:45	専門 11	特殊鑄造法	吉野正規（株）クボタ教育センター
27	10 月 31 日 (金)	13:00～17:00	地区 4	なぜなぜ解析(生型、小物で)	岩瀬義孝（アイシン高丘(株)）、 徳力慎一（中央可鍛工業株）
	(別途)			予備日	関係各位
28	11 月 14 日 (金)	10:00～12:00	地区 2	鑄造設備システムの基礎(集塵機、後処理等)	花井 崇（新東工業株）
29		13:00～14:00	地区 1	鑄鉄の熱処理	佐藤 尚（名古屋工業大学）
30		14:10～16:10	専門 12	鑄鉄鑄物の不良対策	栗熊 勉（栗熊技術事務所）
	11 月 28 日(金)	(別途)		工場見学(株)富田鑄工所＋不良対策検討会	
	2026 年 1 月 14～16 日、29～30 日			インターンシップ	別途

## 2025年度鑄造カレッジ（東海地区）鑄鉄コースインターンシップ(予定)

2026年1月14日～1月16日 会場 三重県工業研究所金属研究室 三重県桑名市大字志知208

2026年1月29日～1月30日 会場 ニューアロイ(株) 愛知県豊橋市新西浜町1

※A・Bの2グループに分かれてインターンシップを実施する(各グループ8名)

●テーマ ※下記は昨年度実施した内容です。

【溶解テーマ】鑄鉄の溶湯性状の変化を観察し、溶湯性状と凝固後の金属組織や機械的質との関係を学ぶ

【鑄型・不良対策テーマ】鑄型砂特性と鑄物形状が鑄造不良に及ぼす影響、不良対策手法を学ぶ

日程	項目	時間				講習内容と目的		
						A班		B班
1日目	開講	9:00	～ 9:10	10	00)	開講式・オリエンテーション		
1月14日 (水)	安全教育	9:10	～ 9:20	10	01)	安全教育		
	混練と造型	9:20	～ 10:10	50	02)	生型の鑄型用材料と造型法(座学)		
		10:10	～ 10:20	10		休憩		
	混練と造型	10:20	～ 12:00	100	03)	生砂混練と砂特性試験(実習)	04)	フラン砂型の混練と造型(実習)
		12:00	～ 13:00	60		昼休み		
	混練と造型	13:00	～ 16:50	230	03)	生砂混練と砂特性試験(実習)	04)	フラン砂型の混練と造型(実習) 途中10分休憩
		16:50	～ 17:00	10		終礼		
2日目		9:00	～ 9:10	10		朝礼		
1月15日 (木)	混練と造型	9:10	～ 12:00	170	04)	フラン砂型の混練と造型(実習)	03)	生砂混練と砂特性試験(実習) 途中10分休憩
		12:00	～ 13:00	60		昼休み		
	混練と造型	13:00	～ 15:50	170	04)	フラン砂型の混練と造型(実習)	03)	生砂混練と砂特性試験(実習)
		15:50	～ 16:00	10		休憩		
	材料配合計算	16:00	～ 16:50	50	05)	材料配合計算(座学)		
		16:50	～ 17:00	10		終礼		
3日目		9:00	～ 9:10	10		朝礼		
1月16日 (金)	溶解、鑄込み	9:10	～ 11:10	120	06)	FCDの材料計量、溶解、鑄込み(実習)	07)	生砂型の造型(実習)
		11:10	～ 12:00	50		後片付け		
		12:00	～ 13:00	60		昼休み		
	溶解、鑄込み	13:00	～ 16:00	180	07)	生砂型の造型(実習)	06)	FCの材料計量、溶解、鑄込み(実習)
		16:00	～ 16:50	50		後片付け		
		16:50	～ 17:00	10		終礼		
4日目		9:00	～ 9:10	10		朝礼		
1月29日 (木)	試料研磨	9:10	～ 11:40	150	08)	検鏡用研磨(実習)	09)	引張試験。硬さ測定(実習) 途中10分休憩
	後片付け	11:40	～ 12:00	20		後片づけ		
		12:00	～ 13:00	60		昼休み		
	CAE 解析	13:00	～ 16:55	235	09)	引張試験。硬さ測定(実習)	08)	検鏡用研磨(実習) 途中10分休憩
		16:55	～ 17:00	5		終礼		
5日目		9:00	～ 9:10	10		朝礼		
1月30日 (金)	成分・組織	9:10	～ 10:30	80	10)	成分分析関係	11)	組織関係
		10:30	～ 10:40	10		休憩		
		10:40	～ 12:00	80	11)	組織関係	10)	成分分析関係
		12:00	～ 13:00	60		昼休み		
	添加剤	13:00	～ 14:00	60	12)	鑄鉄用添加剤について(座学)		
		14:00	～ 14:10	10		休憩		
	まとめ	14:10	～ 17:00	170	13)	インターンシップまとめ、グループ毎に発表		

# 東海地区 鑄鉄コース 講義内容

## 共通科目

コード	テキスト科目	キーワード	内容・到達目標	講師（予定）
共通 1	鑄造概論	鑄造技術史、凝固、偏析、核生成、溶湯流動、凝固組織	鑄造技術の歴史と発展を知り、先人の知恵に学ぶ。溶湯の鑄型充てんから凝固完了までの物理的变化、種々の要因、機構を述べ、それらと鑄物性状との関連の理解と問題因子追究力の向上を図る。	万谷義和 (鈴鹿工業高等専門学校)
共通 2	状態図の基礎	合金状態図、二元および多元系、平衡、凝固点、相変態	平衡状態図とは何か、熱力学との関係、相律とてこの法則などについて平易に述べる。共晶反応、凝固による相変態などについて理解を深め、状態図からの情報収集力を高める。	田村卓也 (産業技術総合研究所)
共通 3	鉄系鑄物概論 (鑄鉄・鑄鋼)	鑄鉄の JIS、組織、化学成分、鑄鉄の長所短所。鑄鋼の用途別 JIS（機械的性質）、組織、化学成分、熱処理、	各種鑄鉄の JIS にある機械的性質・組織・化学成分を述べ、各々の特徴（長所・短所）を理解する。鑄鋼についても用途別 JIS にある機械的性質・組織・化学成分を述べ、各々の特徴（長所・短所）を理解する。	鈴木克美 (ものづくり大学名誉教授)
共通 4	非鉄鑄物概論 (軽合金・銅合金)	アルミニウム合金鑄物の用途別 JIS（機械的性質）、組織、化学成分、熱処理、長所短所。銅合金鑄物の用途別 JIS（機械的性質）組織、化学成分、長所短所	各種アルミニウム合金鑄物の JIS にある機械的性質・組織・化学成分・熱処理を述べ、各々の特徴（長所・短所）を理解する。銅合金についても用途別 JIS にある機械的性質・組織・化学成分を述べ、各々の特徴（長所・短所）を理解する。	林 壮一 (株)マルサン木型製作所
共通 5	生型の鑄型用材料と造型法	鑄物砂、生型砂添加剤、副資材、生型特性、砂管理、造型法、欠陥	生型造型に必要な砂（天然砂、人造砂、人工砂）、添加物等の材料特性、造型法に関する基本事項について学び、生型造型の理解を深める。鑄型砂性質と鑄物性状との関連について知識を得、砂起因欠陥の考察力を高める。	佐藤和則 (日本鑄造工学会)
共通 6	生型以外の鑄型用材料と造型法	自硬性、シェルモールド、コールドボックス、ガス硬化型、砂管理、バインダー、硬化反応	各種自硬性鑄型、シェル鑄型、ガス硬化鑄型等の鑄型の特性、バインダー・硬化剤等の材料及び硬化機構、砂試験・管理方法、造型法と鑄型特性の理解を深め、その性質が鑄物に与える影響、欠陥と対策について考察力を高める。	橋本邦弘 (元新東工業株)
共通 7	模型製作	CAD、CAM、工程合理化、コンピュータ設計、自動化、RP	鑄造に用いる模型の設計・製作に当たり、CAD、CAM 導入の考え方、条件、模型製作工数の減少、寸法精度アップなど、導入のメリットと問題点について述べ理解の向上を図る。	宇波岳雄 (株)山口型範
共通 8	鑄造品の品質保証と非破壊検査	ISO、JIS、品質保証、非破壊検査方法、表面欠陥検査、内部欠陥検査、信頼性向上	製品品質に及ぼす要因は多岐にわたるが、その中で ISO、JIS の規格を満足し、品質均一化とその向上を図るポイントや非破壊検査方法とそれによる品質保証例を述べる。鑄造品の信頼性向上のための能力を高める。	桑原 勝 (株)クボタ教育センター)
共通 9	コンピュータシミュレーション概論	CAD データ、CAE、湯流れ解析、流動と伝熱、凝固解析、不良対策、一発立ち上げ	客先からの CAD データを CAE に使い鑄造時における湯流れ、凝固等を事前にシミュレートし、試行錯誤で新規品を立ち上げるのではなく一発で良品を造っていくことができるようになってきた。その CAE の基礎を学ぶ。	合田拓矢 (株)トヨタシステムズ)

## 管理科目

番号	講義項目	キーワード	内容・到達目標	講師（予定）
管理 1	生産管理	生産管理、工程管理、全体最適化	鋳物工場の経営管理についての基本的な考え方、生産管理および工程管理についての理論、技法を紹介し、各論および全体最適化のためのアプローチについて理解を深める。	木村寿一 (株木村鋳造所)
管理 2	原価管理	標準原価計算、原価差異分析、原価低減活動	原価の意味、原価管理の目的を紹介し、標準原価計算や原価差異分析などの原価管理の手法を説明する。さらに原価低減活動の進め方について理解を深める。	長坂悦敬 (甲南大学 名誉教授)
管理 3	品質管理 (TQC, 検査法)	方針管理、工程管理 (PDCA)、QC 7つの道具、作業標準、品質指標	経営管理上必要な品質管理の意義、PDCA、作業標準（品質）、QC 7つの道具、各種品質指標の把握・管理など品質に関する基本事項について実例を交えて解説し、理解を深める。	中村隆廣 (元)クボタ教育センター)
管理 4	安全・衛生管理、環境管理、省エネルギー	労働災害防止、労働安全衛生法、KY 活動、リスクアセスメント、安全管理、公害、省エネ対策、省資源、環境経営	労働安全衛生法、同関係法令の解釈と事業者及び管理監督者の責任を理解する。また、公害防止や環境関連法規の体系、環境保全管理に関連し ISO14001 登録の必然性と省資源・省エネルギー対策を学ぶ。	松下哲也 (株大田鋳造所)
管理 5	設備管理	PM、TPM、設備管理、点検表、稼働率	工場を効率よく稼働させるには、設備を点検表できちんと点検し、故障してから直すのではなく、事前にきちんと設備を管理していくことが必要である。また、故障しないような改善も重要である。	田村浩一 (田村労働衛生コンサルタント事務所/ 元 IJTT))

## 地区別科目

番号	講義項目	キーワード	内容・到達目標	講師（予定）
地区 1	鋳鉄の熱処理	加熱温度、冷却速度、保持時間、基地組織、A <sub>1</sub> 変態、状態図、残留応力、チル分解	鋳鉄に用いられている熱処理の目的及び各種熱処理法において、組織の調整、応力除去、特性の改善について解説し、理解を深める。	佐藤 尚 (名古屋工業大学)
地区 2	鋳造設備システムの基礎	鋳造設備、アクチュエータ、センサー、システム構成	自動注湯機、ロボットなどを用いた鋳造設備、自動化設備を構築するための基本的なシステム構成（アナログ、デジタル）や構成するアクチュエータ、センサーなどを解説する。	花井 崇 (新東工業(株))
地区 3	炉前試験、材料試験、組織観察	破面試験、熱分析試験、湯面模様試験、温度測定、成分分析	良い鋳物を造るためには、良い溶湯を造る必要があります。そこで、炉前において迅速で簡単に溶湯の性状を判断できる炉前試験法について解説する。併せて材料試験や組織観察を簡単に解説する。	栗熊 勉 (栗熊技術事務所)
地区 4	なぜなぜ分析 (生型、小物で)	改良型なぜなぜ分析 全員参加・論理的現象解析 コミュニケーションの深まり・OJT の場	なぜなぜ分析の実践により論理的な現象解析を行い、皆が納得できる結論をより早く導き出す事を体験する。この体験により論理的に考える習慣が身に付く。自社での活用により技術のレベルアップが期待できる。	岩瀬義孝 (アイシン高丘(株)) 徳力慎一 (中央可鍛工業(株))



## 鑄鉄専門科目

コード	講義項目	キーワード	内容・到達目標	講師（予定）
鑄鉄 1	鑄鉄の用途	自動車用鑄物、産業機械用鑄物、電気用鑄物、建設機械用鑄物、配管用鑄物、景観鑄物、その他	日本の鑄鉄鑄物の用途別生産量・生産額を知り、その用途別の例を挙げ、そこに使われる理由を機械的性質、物理的性質、化学的性質等から説明し、理解を深める。	岡田裕二 (元トヨタ自動車㈱)
鑄鉄 2	状態図と鑄鉄の組織・凝固	Fe-C 系、共晶と共析、黒鉛、レデブライト、フェライト、パーライト、組織と特性	Fe-C 系状態図の見方、凝固中に生ずる種々の組織と特性について安定系と準安定系の場合について述べる。デンドライト、黒鉛、フェライト、パーライトなど組織形成と材料特性への理解を深める。	田村卓也 (産業技術総合研究所)
鑄鉄 3	鑄鉄の溶解と材質	鑄鉄溶解、キュボラ、電気炉、炉内反応、微量元素、溶湯処理、炉前試験、材質	キュボラと誘導電気炉による鑄鉄溶解の原理・方法、炉内反応、溶湯性状および溶湯処理、材質の特徴、炉前試験等について述べる。溶解効率の向上や、溶湯処理、微量元素、黒鉛核生成物質と溶湯性状の関連性について理解を深める。	長島啓太 (トヨタ自動車㈱)
鑄鉄 4	量産小物鑄鉄鑄物を中心とした鑄鉄の材質と用途	量産鑄鉄鑄物、薄肉鑄物、自動車鑄物、材質特性、用途	量産鑄鉄鑄物、特に、薄肉鑄物、自動車用鑄鉄の材質、機能、鑄造欠陥などについて学ぶ。用途および軽量化に対して要求される材質条件の理解を深め、製造方法との関連について考察力を高める。	岡田裕二 (元トヨタ自動車㈱)
鑄鉄 5	量産小物鑄鉄鑄物を中心とした鑄鉄の製造プロセス、鑄造方案	量産小物鑄鉄鑄物、軽量化、薄肉化、チル、鑄造プロセス、鑄造方案、熱処理	自動車をはじめ種々の部品は軽いことが要求されており、肉厚 2～3mm の鑄鉄鑄物も要求されている。これ等を含め小物鑄鉄鑄物製造のプロセス、方案や溶湯処理の要点、チルや漏れ等の不良対策について学ぶ。	栗熊 勉 (栗熊技術事務所)
鑄鉄 6	大物鑄鉄鑄物の製造プロセス、材質、鑄造方案、欠陥	大物鑄鉄鑄物、鑄造プロセス、材質特性、鑄造方案、欠陥、熱処理	船舶、発電用などに多用される大物鑄物について鑄造法、欠陥、特性、用途などについて述べる。熱処理、材料組織、欠陥修復技術などについて理解を深める。また、熱処理（焼鈍・焼準・歪とり焼鈍）についても簡単に学ぶ。	菅野利猛 (㈱木村鑄造所)
鑄鉄 7	鑄造方案とコンピュータシミュレーション	CAE、鑄鉄、コンピュータシミュレーション、流動と伝熱、モデル実験	CAE の鑄鉄への適用について湯流れ、凝固等を各種の例を用いて説明。シミュレーション結果の見方、プロセス改善への活かし方を理解する。	合田拓矢 (㈱トヨタシステムズ)
鑄鉄 8	中子造型法	シェル法、コールドボックス法、自硬性法、各種中子造型法の特性、砂管理、塗型、鑄造欠陥と対策	シェル法、コールドボックス法、自硬性法、CO <sub>2</sub> 等の各種中子造型法とその特性・特徴、中子砂管理、できた中子の管理、塗型などについて述べる。また、中子に関する鑄造欠陥とその対策について知識を深める。	曾根孝明 (㈱瓢屋)
鑄鉄 9	鑄物砂の管理と砂試験法	混練、鑄物砂管理、鑄造欠陥、不良対策、砂再利用、鑄物砂試験法	鑄鉄鑄物用砂混練法、砂回収・管理方法、鑄物砂リサイクル、鑄物砂試験法等について説明する。造型に必要な砂特性を知り、その測定法への理解を深めるとともに必要な管理幅について学ぶ。	曾根孝明 (㈱瓢屋)
鑄鉄 10	特殊鑄鉄鑄物（合金鑄鉄）の材質、用途、製造法	合金元素、合金鑄鉄の種類、組織、特性、製造法	普通鑄鉄以外の合金元素を含む鑄鉄（合金鑄鉄）の材質、組織、製造方法を述べる。機械的性質、耐食性、耐熱性などへの合金元素の影響と黒鉛化傾向との関連性について理解を深める。	岡田裕二 (元トヨタ自動車㈱)
鑄鉄 11	特殊鑄造法	精密鑄造法、消失模型鑄造法、V プロセス、遠心鑄造法、鑄鉄の複合化、鑄ぐるみ、鑄鉄の高機能化	生型や自硬性型による鑄造法以外に種々の特徴を有する特殊な鑄造法の例と鑄造原理、設備の特徴、生産性等について述べる。また鑄包みなどによる鑄鉄の高機能化に関する知識を高める。	吉野正規 (㈱クボタ教育センター)
鑄鉄 12	鑄鉄鑄物の不良対（主に溶湯に起因する不良の原因と対策）	FC、FCD、鑄造欠陥、材質不良、不良対策	FC、FCD の材質不良、異物噛不良、引け不良などの発生原因とその対策について学習し、欠陥発生要因の解析および問題解決能力の向上を図る。	栗熊 勉 (栗熊技術事務所)

### （重要） お申込みおける注意事項

- ・ 講義の一部がZoomによるWeb 講義となります。受講の際には、カメラ付きパソコンやWi-Fi 等の受信環境が必要となります。なお、受講が決定しましたら、希望者には開講までにカレッジ事務局と受講者の皆様とで操作方法などの事前確認を実施しますので、ご安心ください。
- ・ 社会情勢によっては、対面形式の講義を ZOOM による WEB 講義に切替える事があります。また、インターンシップや工場見学等、一部の日程を変更することがあります。

### 各種助成金についてのご案内

今年度、鑄造カレッジ・鑄造カレッジ上級コースにて利用できる助成金は以下の通りです。

#### 《 人材開発支援助成金（ 旧キャリア形成促進助成金 ） 》

平成 29 年 4 月 1 日からキャリア形成促進助成金は人材開発支援助成金と名前が変更となりました。同助成金のうち、鑄造カレッジおよび上級コースに係るものとしては、「特定訓練コース」と「一般訓練コース」となります。対象企業、対象者の条件等により申請できるコース、助成率、助成額が異なります。詳細は下記よりご確認の上、ご検討下さい。

#### 厚生労働省ホームページ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

※くわしくは、各都道府県労働局や最寄りのハローワーク窓口にてお問い合わせください



# 東海地区 鋳鉄コース 講義・インターンシップ会場

## ●講義会場

### ○愛知県鋳物工業協同組合

〒466-0058

愛知県名古屋市昭和区白金 3-13-5

TEL:052-881-3740

FAX:052-881-3780

交通手段

JR金山駅北出口より

タクシーで約 10 分

または

市バスターミナル⑦乗り場より⑪⑫⑬系統に乗車

高辻で下車(3 番目の停留所)より徒歩 3 分



愛知県鋳物工業協同組合

## ●インターンシップ会場

### ○三重県工業研究所 金属研究室

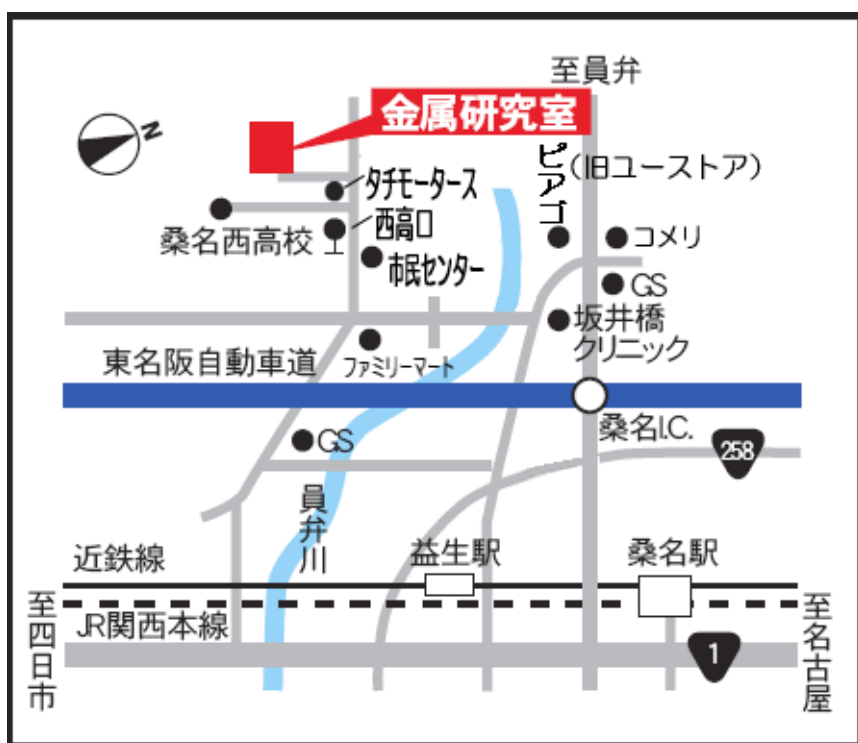
三重県桑名市大字志知字西山 208 番地(〒511-0937) TEL:0594-31-0300 FAX:0594-31-8943

交通案内

桑名駅(JR 関西本線、近鉄名古屋線、養老鉄道)より

(八風バス:志知、南金井行き)～志知下車(約 40 分)、徒歩約 7 分

(八風バス:桑名西高校行き)～西高口下車(約 40 分)、徒歩約 8 分



## ○ニューアロイ株式会社

愛知県豊橋市新西浜町 1

TEL : 0532-34-2088

FAX : 0532-34-2089

### 交通案内

J R又は名鉄豊橋駅下車

※ タクシーで所在地をお伝えください。



### 【お車でお越しの場合】

#### ・大阪、名古屋方面からお越しの場合

東名高速 音羽蒲郡IC降りて国道1号線を豊橋方面(南東)へ。「京次西」交差点を右折し海の方(南西)へ。「御津町入浜」交差点を左折し国道23号を豊橋方面(南東)へ。「臨海公園」交差点を右折し豊川浄化センター・三河臨海緑地方面へ。「新西浜町」交差点を右折、緩やかなカーブの後、最初の左折を曲がり、突き当たりが当社です。

#### ・東京、静岡方面からお越しの場合

東名高速豊川ICを降りて、国道151号線(途中から247号線)を道なりに豊川・豊橋方面へ。11kmほど走り23号線を越えて、「企業団地」へ。

企業団地内の「新西浜町」交差点を右折、緩やかなカーブの後、最初の左折を曲がり、突き当たりが当社です。

### 【ご注意！】

ナビやタクシーによっては、北東隣の

「豊川浄化センター」様に案内されてしまうことがあるので、ご注意ください。